

# 平成28年度

## 第1回 名寄市国民健康保険運営協議会議案

日 時 平成28年6月27日(月)

午後6時30分

場 所 駅前交流プラザ よろーな

会議室2

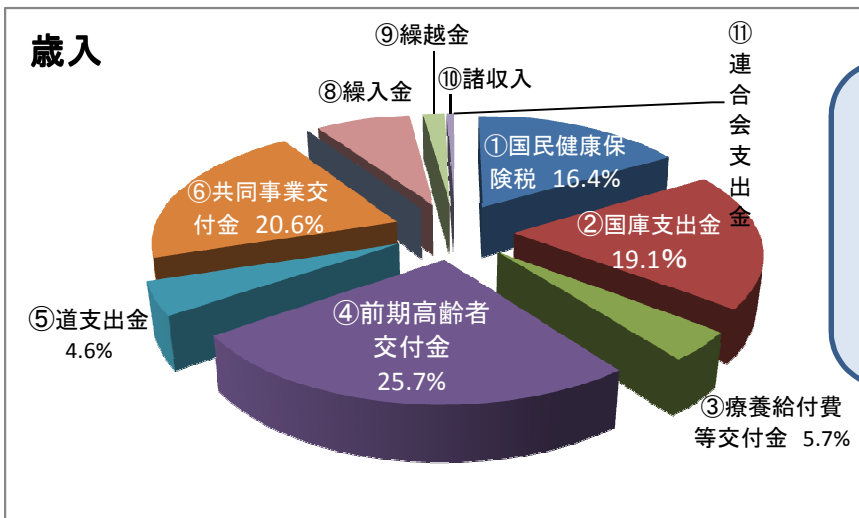
### 会 議 次 第

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 会長選挙
5. 会長あいさつ
6. 議事録署名委員の指名について
7. 報告案件
  - (1) 平成27年度決算の概要について
  - (2) 国保の都道府県化
8. その他
9. 閉 会

(1) 平成27年度 国民健康保険特別会計の決算概要

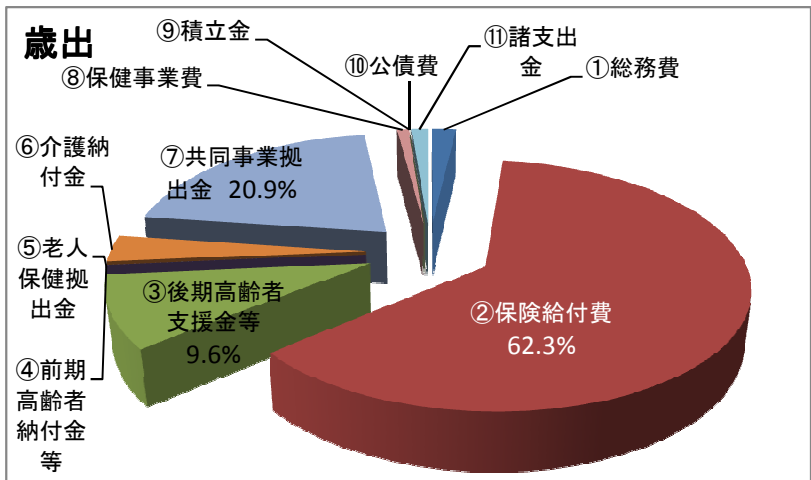
単位：千円

歳 入		歳 出	
①国民健康保険税	611,678	①総務費	63,475
②国庫支出金	712,761	②保険給付費	2,274,441
③療養給付費等交付金	151,157	③後期高齢者支援金等	349,976
④前期高齢者交付金	958,428	④前期高齢者納付金等	233
⑤道支出金	172,978	⑤老人保健拠出金	16
⑥共同事業交付金	765,894	⑥介護納付金	126,811
⑦財産収入	21	⑦共同事業拠出金	764,698
⑧繰入金	274,791	⑧保健事業費	29,290
⑨繰越金	59,842	⑨積立金	21
⑩諸収入	16,505	⑩公債費	549
⑪連合会支出金	105	⑪諸支出金	42,033
		⑫予備費	0
歳入合計	3,724,160	歳出合計	3,651,543
		歳入歳出差引残額	72,617
		前年度繰越金と基金繰入分、積立金を除く単年度実質収支	-20,476



**【歳入】**  
国民健康保険税の収入は16.4%程であり、歳入のほとんどは国、北海道からの交付金や支出金などでまかなわれています。

**【歳出】**  
保険給付費（医療費）の額が歳出の6割以上を占めています。加入者の高齢化や医療の高度化が主な原因です。



平成27年度の決算状況  
基金33,230千円を取り崩したこともあり、収支は72,617千円の黒字となりました。しかし、この額から前年度からの繰越金と基金の額などを除く単年実質収支は20,476千円の赤字となっており、国保財政は依然として厳しい状況が続いています。

## 平成 27 年度決算と基金の状況

・単年度収支は 72,617 千円の黒字、ここから平成 27 年度の医療費の精算分を支払う。

→ 約 20,000 千円(一般医療費)  
未定 (退職医療費)

## 基金の状況

単位：千円

	内 訳			年度末残高
	基金	利子	取崩額	
平成 23 年度	226,993	68	△40,186	186,875
平成 24 年度	186,875	46	△97,912	89,009
平成 25 年度	89,009	24	0	89,033
平成 26 年度	89,033	17	0	89,050
平成 27 年度	89,050	21	△33,230	55,840
平成 28 年度	<b>55,840</b>			

平成 28 年度予算に 35,820 千円を繰入れているため、現状 20,020 千円の残

基金の残額が 20,000 千円では、平成 29 年度の予算を組むことができない。



※H28 年度予算編成でも基金から 35,820 千円繰入

平成 27 年度決算による繰越金（精算後）を基金に積み、平成 28 年度の決算状況を踏まえながら平成 29 年度の予算編成を行う。

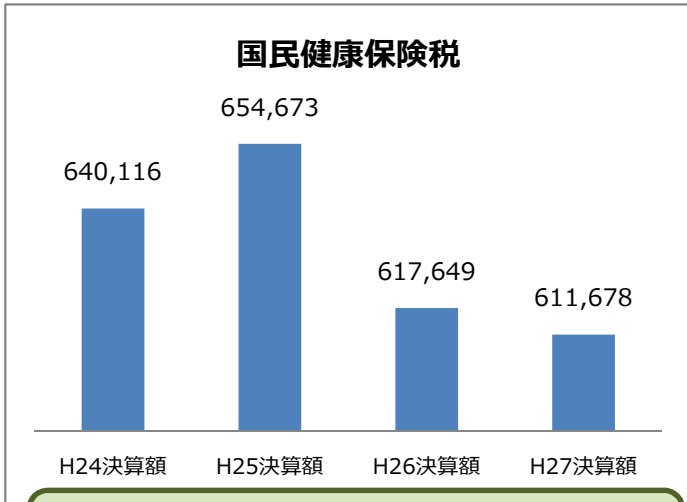
## ◎ 国民健康保険特別会計の決算額の推移

単位:千円

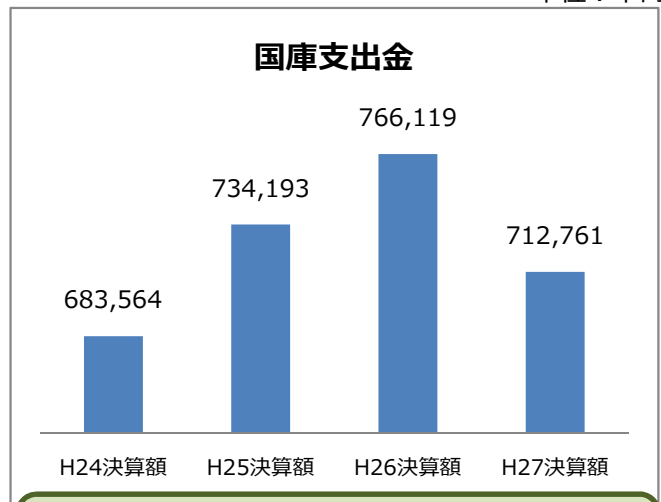
款		H24決算額	H25決算額	H26決算額	H27決算額
歳入	国民健康保険税	640,116	654,673	617,649	611,678
	国庫支出金	683,564	734,193	766,119	712,761
	療養給付費等交付金	274,843	213,093	193,559	151,157
	前期高齢者交付金	880,531	956,005	957,439	958,428
	道支出金	162,494	180,211	173,007	172,978
	共同事業交付金	355,595	369,685	423,066	765,894
	財産収入	46	24	17	21
	繰入金	297,763	201,691	208,286	274,791
	繰越金	81,149	104,942	118,830	59,842
	諸収入	1,640	9,981	7,448	16,505
	連合会支出金	460	298	240	105
	歳入合計	3,378,201	3,424,796	3,465,660	3,724,160
	歳出	総務費	70,795	74,872	65,999
保険給付費		2,274,791	2,321,240	2,406,458	2,274,441
後期高齢者支援金等		347,319	355,096	354,844	349,976
前期高齢者納付金等		348	347	273	233
老人保健拠出金		19	17	16	16
介護納付金		156,363	154,257	150,854	126,811
共同事業拠出金		373,660	350,858	336,368	764,698
保険事業費		28,148	29,059	30,054	29,290
積立金		46	24	17	21
公債費		227	667	700	549
諸支出金		21,543	19,527	60,234	42,033
予備費		0	0	0	0
歳出合計		3,273,259	3,305,964	3,405,817	3,651,543
収支差引額(繰越額)		104,942	118,832	59,843	72,617

# 歳入決算概要

単位：千円

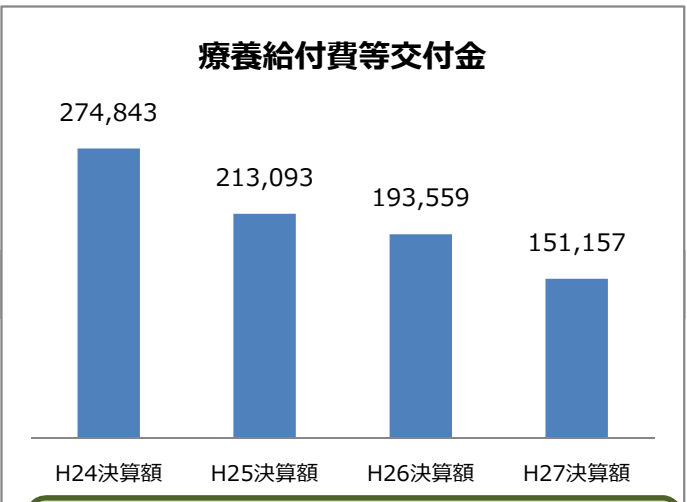


被保険数の減少及び低所得化により、税収は減少を続けている。

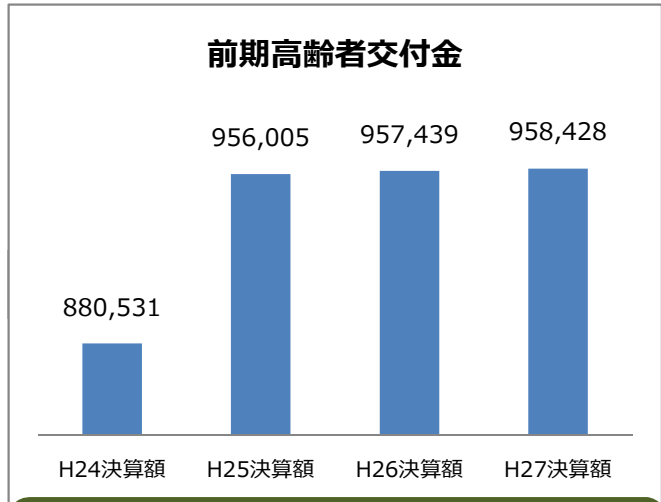


かかった医療費の額に応じて交付される。平成26年度が突出していた。

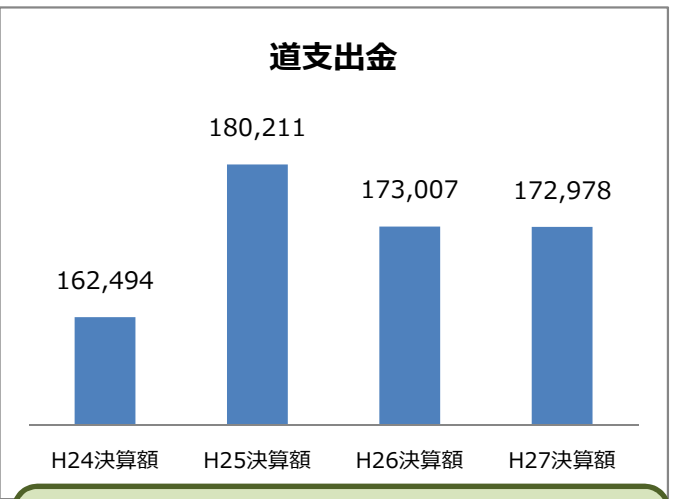
※医療費（3月～2月ベース）



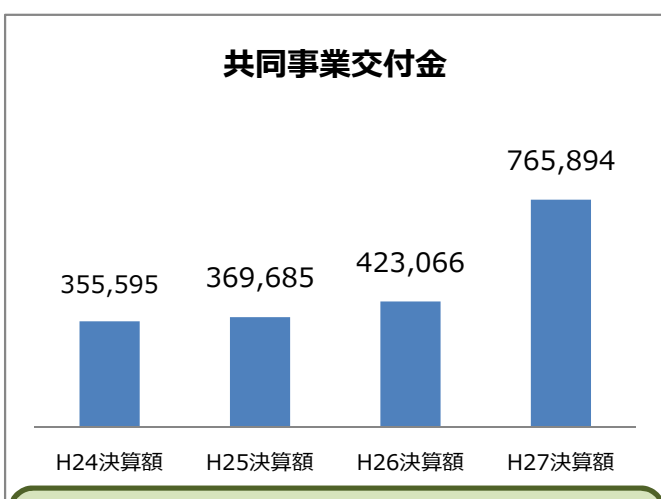
退職被保険者の医療費に応じて交付される。平成27年3月末で制度廃止のため新規該当者がいない。



前期高齢者（65～74歳）の数に応じて、他被用者保険で按分した額が交付される。



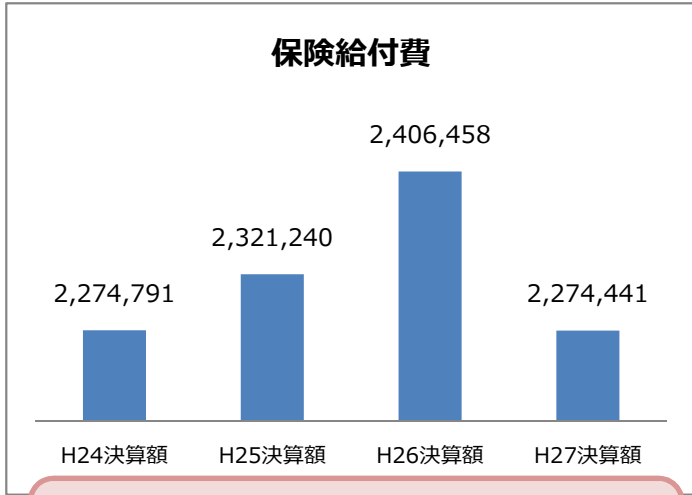
医療費や所得の格差の是正や、地域の実情に応じた市町村の国保財政の安定化に向けた取組等に対して交付。



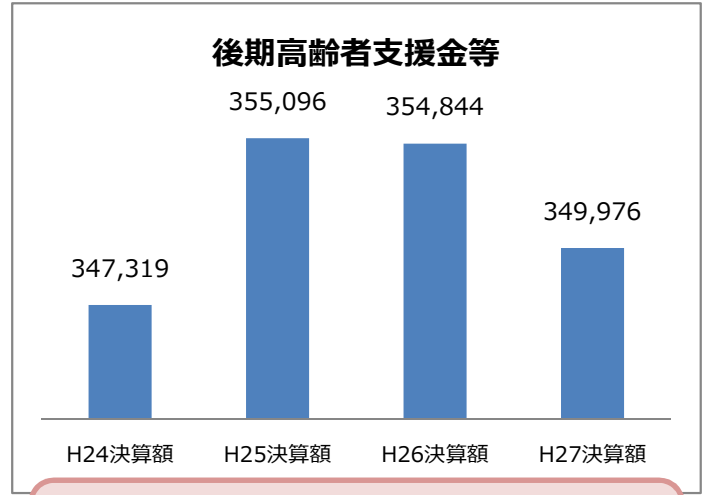
自治体により異なる年齢構成、医療費水準、所得水準より生じる市町村間の格差を都道府県単位で調整する。（H27～すべての医療費について対象）

# 歳出

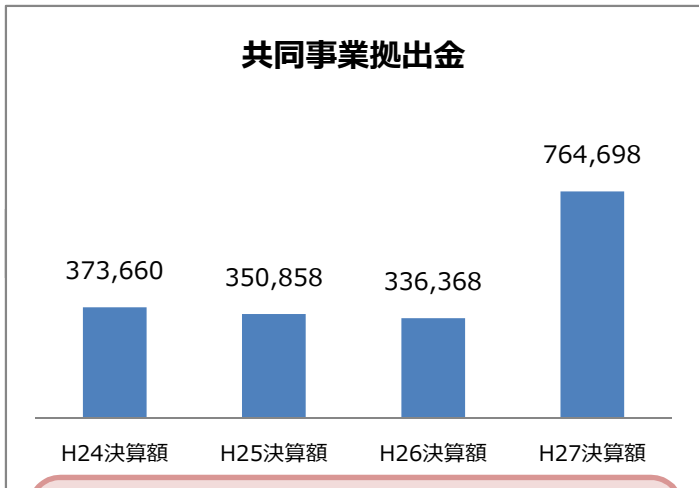
単位:千円



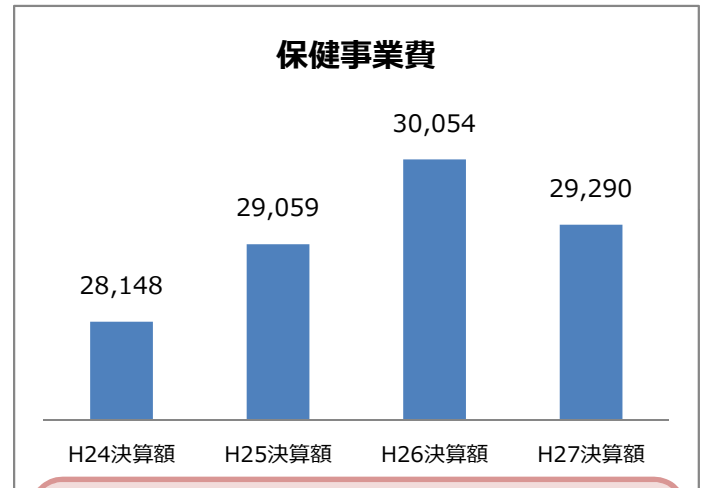
かかった医療費



平成27年から3年かけて段階的に総報酬割を導入したため減少

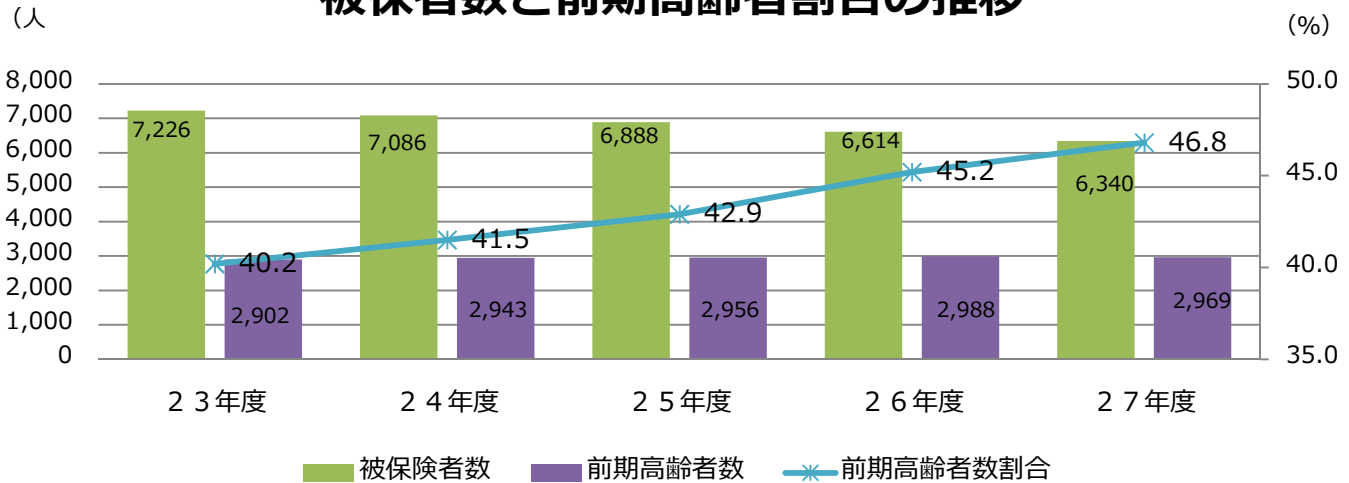


自治体により異なる年齢構成、医療費水準、所得水準より生じる市町村間の格差を都道府県単位で調整するために拠出。(H27～すべての医療費について対象)



特定健診、特定保健指導、人間ドック、がん検診などにかかる費用

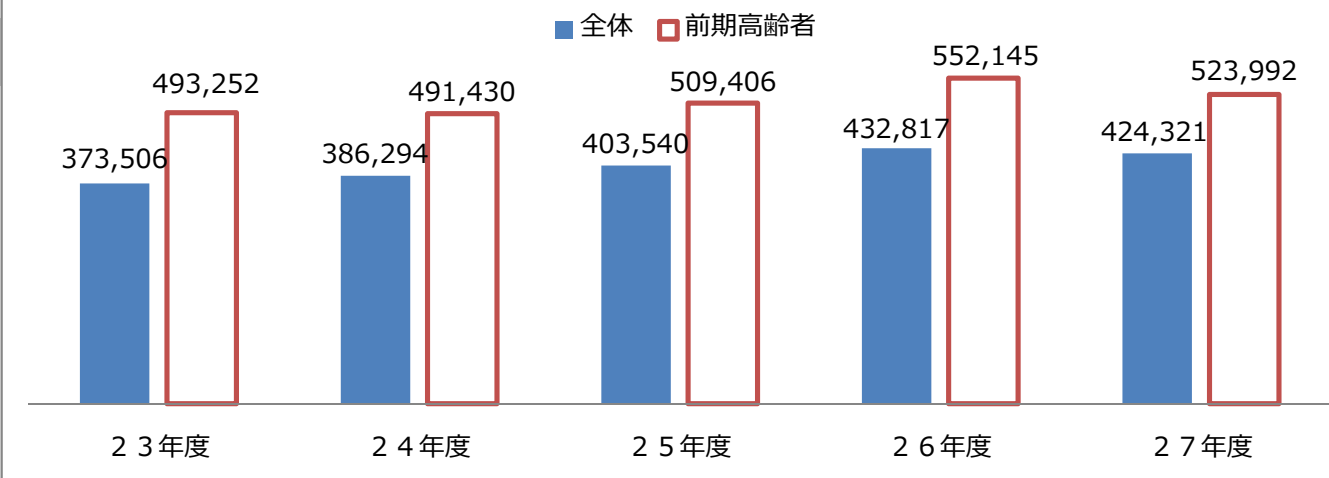
## 被保者数と前期高齢者割合の推移



平成27年度に団塊の世代が全て前期高齢者（65歳～74歳）に移行。9年後に後期高齢者医療（75歳～）に移行するまでの間、前期高齢者の医療費が大幅に増大することが見込まれます。

## 1人当たり医療費

単位：円



# 保険者努力支援制度 11の指標（平成28年度から前倒しで交付）

## I 保険者共通の指標（6つの指標）

### 1. 特定健診・特定保健指導の受診率、メタボ該当者及び予備群の減少率



#### 【特定健診】

※平成26年度の実績を評価

- ①第二期特定健診等実施計画期間における目標値60%を達成しているか。
- ②平成25年度の全自治体上位3割に当たる44.1%を達成しているか。
- ③平成25年度の全自治体の上位5割に当たる38.4%を達成しているか。
- ④平成25年度の実績と比較し、受診率が1%以上向上しているか。

→ ④に該当。（平成25年度 29.2%、26年度 30.7%）



#### 【特定保健指導】

※平成26年度の実績を評価

- ①第二期特定健診等実施計画期間における目標値60%を達成しているか。
- ②平成25年度の全自治体上位3割に当たる44.2%を達成しているか。
- ③平成25年度の全自治体の上位5割に当たる28.1%を達成しているか。
- ④平成25年度の実績と比較し、受診率が5%以上向上しているか。

→ ①に該当。（平成26年度 79.5%）



#### 【メタボ該当者及び予備群の減少率】

※平成26年度の実績を評価

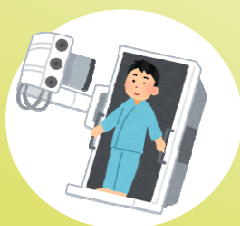
メタボ該当者及び予備群が一定程度減少しているか。

→ 減少率については、現状では明確にされていない。

### 2. 特定健診以外の健診の実施や健診結果に基づく受診勧奨等の取組

#### 【がん検診受診率】

※平成26年度の実績を評価



- ①胃がん、肺がん、大腸がん、子宮頸がん、乳がんの5つのがん検診の平均受診率が、平成25年度の全自治体上位5割に当たる12.6%を達成しているか。
- ②平成25年度と比較し、受診率が1%以上向上しているか。

→ ①に該当。国保被保険者ではなく、名寄市民全体を対象とした平均受診率保健活動報告書により、現状は12.6%以上

#### 【歯周疾患検査実施状況】

※平成28年度の実績を評価



- ①歯周疾患(病)検診を実施しているか。

→ 実施していない。

特定健診のように名寄市国保のみの数値を出していないため、市全体としての率



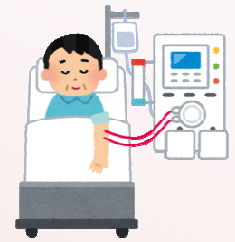


### 3. 糖尿病の重症化予防の取組の実施状況

※平成 28 年度の実績を評価

#### 【以下の基準を全て満たす糖尿病性腎症重症化予防の取組】

- ①対象者の抽出基準が明確であること。  
→ データヘルス計画に基づき抽出
- ②かかりつけ医と連携した取組であること。  
→ 連携に向け検討中
- ③保健指導を実施する場合は、専門職が取組に携わること。  
→ 専門職（保健師）が携わっている。
- ④事業の評価を実施すること。  
→ データヘルス計画に基づき実施
- ⑤地域の実情に応じて各都道府県の糖尿病対策推進会議等との連携（各都道府県による対応策の議論や取組内容の共有など）を図ること。  
→ 今後詳細な情報を収集



### 4. 広く加入者に対して行う予防・健康づくりの取組の実施状況

#### 【個人へのインセンティブの提供】

※平成 28 年度の実績を評価

- ①健康づくりの取組や成果に対しポイント等を付与し、報奨を設けるなど一般住民による取組を推進する事業を実施しているか。  
→ 「なよろ健康マイレージ」「あるキング」
- ②その際、PDCA サイクルにより見直しができるよう、インセンティブが一般住民の行動変容に繋がったかどうか検証をおこなっているか。  
→ 具体的にどのような検証があるのか検討

#### 【個人への分かりやすい情報提供の実施】

※平成 28 年度の実績を評価

- ①特定健診等の受診者に ICT などを利用して健診結果を提供しているか。  
→ 詳細を照会中
- ②検査の数値の持つ意味について分かりやすく説明  
→ 説明している。
- ③医療機関を受診することが必要な場合には、確実に受診勧奨をしているか。  
→ 勧奨を実施している。

※PDCA サイクル

計画 (Plan)・実行 (Do)・評価 (Check)・改善 (Action)

一連の業務を行う上で計画を立てて実行し、結果を評価後改善して次のステップへと繋げていく

※インセンティブ

意欲向上や目標達成のための刺激策

※ICT (情報通信技術) 情報や通信に関連する科学技術の総称

## 5. 加入者の適正受診・適正服薬を促す取組の実施状況

※平成 28 年度の実績を評価



### 【重複服薬者に対する取組】

例えば「同一月に 2 以上の医療機関より、同一の薬効の薬剤の投与を受けている」ような場合、対象者の抽出を行い、その者に何らかのアプローチ  
→ **取組を行っている。**

## 6. 後発医薬品の使用促進に関する取組の実施状況

※平成 28 年度の実績を評価



### 【後発医薬品促進の取組】

- ①後発医薬品の使用割合及び後発医薬品の薬剤費額を把握しているか。  
→ **国保総合システムにより把握**
- ②後発医薬品の使用状況について、性年齢別等に類型化し、把握した上で事業目標をたてる。  
→ **性年齢別等は、国保総合システムにより把握し、事業目標をたてる。**
- ③差額通知の事業を実施し、通知前後で後発医薬品への切り替えが行われているか確認。  
→ **差額通知書の事業は実施済。確認も行う。**

### 【後発医薬品の使用割合】

※平成 27 年度の実績を評価

- ①平成 26 年度の全自治体上位 1 割に当たる 66.2%を達成しているか。
- ②平成 26 年度の全自治体上位 3 割に当たる 61.0%を達成しているか。
- ③平成 26 年度の実績と比較し、使用割合が 10%以上向上しているか。  
→ **該当なし**

## II 国保固有の指標（5つの指標）

### 1. 収納率向上に関する取組の実施状況

※平成 27 年度の実績を評価

#### 【保険税の収納率】

現年度分収納率が市町村規模別の平成 26 年度の全自治体上位 3 割又は上位 5 割に当たる収納率を達成しているか。

被保険者数 1 万人未満 上位 3 割 96.52%、5 割 95.19%

→ 達成している。名寄市 97.76%

### 2. 医療費の分析

※平成 28 年度の実施状況を評価

#### 【データヘルス計画の策定状況】

データヘルス計画を策定しているか。

→ 策定済

### 3. 給付の適正化等

※平成 28 年度の実施状況を評価

#### 【医療費通知の取組の実施状況】

医療費通知について、一定の基準を満たす取組を実施しているか。

※回数、医療機関名の表示、柔道整復療養費の対応等

→ 実施している。

### 4. 地域包括ケアの推進（在宅医療・介護の連携等）

※平成 28 年度の実施状況を評価

#### 【地域包括ケア推進の取組】

- ・地域包括ケアの構築に向けた部局横断的な議論の場に国保部局の参画やデータを活用した被保険者に対する保健活動・保健事業の実施状況について、関係者との情報共有のしくみを構築
- ・国保被保険者を含む高齢者などの住民主体の地域活動の国保部局として支援の実施
- ・国保直診施設を拠点とした地域包括ケアの推進に向けた取組
- ・後期高齢者医療制度と連携した保健事業の実施

→ 今後検討

### 5. 第三者求償

※平成 28 年度の実施状況を評価

#### 【第三者求償の取組状況】

- ①第三者行為の疑いのあるレセプトを抽出し、確認作業を行っているか。
- ②一般社団法人「日本損害保険協会」と覚書を締結し、連携した対応を実施しているか。

→ 実施している。

